

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度第2回朝霞市学校給食運営審議会	
開催日時	令和7年5月26日（月）午後2時から午後3時40分まで	
開催場所	溝沼学校給食センター 会議室	
出席者及び欠席者の職・氏名	【出席者】 委員 9名（宮腰副会長、宮林委員、高堀委員、獅子倉委員、原口委員、小石川委員、太田委員、田中委員、藤原委員） 事務局 7名（福士学校教育部長、星加学校給食課長、星野溝沼学校給食センター所長、田熊栄養主査、田中管理係長、佐々木給食係長、増田主査） 【欠席者】 3名（渡邊会長、野口委員、川又委員）	
議題	① 物価高騰による学校給食賄材料費の増額について ② 学校給食費の見直しについて	
会議資料	1 会議次第 2 【議題1】物価高騰による学校給食賄材料費の増額について 3 【議題2】学校給食費の見直しについて	
会議録の作成方針	☒ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☐ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☒ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法・・・会長による確認	
傍聴者の数	6人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

（事務局 増田）

会議開催前ではございますが、渡邊会長より、本日の審議会を欠席する旨の連絡がありました。

事務局としましては、「朝霞市学校給食運営審議会に関する条例」第6条第4項に基づき、会議の進行を宮腰副会長にお願いしたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

（異議なし）

（事務局 増田）

それでは、宮腰副会長、前の席に移動をお願いいたします。

（事務局 増田）

続いて会議開会前ではございますが、本日の会議の公開について、副会長に進行をお願いしたいと存じます。

（宮腰副会長）

皆様にお諮りします。

本日の会議でございますが、「市政の情報提供及び審議会等の会議開催・公開に関する指針」に基づき公開としてよろしいでしょうか。

（異議なし）

（宮腰副会長）

ありがとうございます。それでは、本日の会議の傍聴者の確認をいたします。事務局、本日、傍聴者はいらっしゃいますでしょうか。

（事務局 田中）

確認いたします。6名いらっしゃいます。

（宮腰副会長）

本日の傍聴を希望の方は、6名いらっしゃっておりますので、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

（異議なし）

（宮腰副会長）

ありがとうございます。なお、この後傍聴者がいらっしゃった場合にも随時御入室していただきますので御了承ください。それでは、事務局にお戻しします。

（事務局 増田）

只今より、令和7年度第2回学校給食運営審議会を開会いたします。

開会に当たりまして、宮腰副会長から御挨拶をお願いします。

(宮腰副会長)

皆様こんにちは。本日は令和7年度第2回学校給食運営審議会に御出席いただきましてありがとうございます。私は、第1回の方に出席できませんでした。すみませんでした。実は修学旅行に行っておりまして、2日間、本校の6年生の児童と過ごしてまいりました。食について関わるようなこともたくさんありました。いくつかあった中で3つ御紹介させていただきます。

1つ目、おなかがペコペコになってからの食事だったので、全部おいしくみんな平らげるように食べていました。2つ目、ホテルでの食事でした。正装された皆さんに囲まれながらの食事で、子供たちも姿勢がピンとなって、ムードって大事だなあって思いました。最後です。2日目のお昼ごはんが郷土料理ということで、湯葉が出てくるお食事でした。湯葉の種類が2つで、湯葉ごはん、と、湯葉とたまごのスープだったのです。子供たちは会場に移動する間、湯葉って何、豆腐でできている給食にも出たやつだよって、あ、あれねえ、トロっとしておいしいよね。なんていうような会話がされていました。朝霞市で行われている食育、郷土料理の勉強で、湯葉を取り入れていただいたのを私覚えているのですが、それと今回の旅行が、つながったなあというふうに感じた次第でございます。とても素敵な旅行をする中に、給食のことも関わっているなあなんて思いました。楽しかったです。

さて、今回の審議では、まず、新たに教育委員会より諮問を受けたことがあります。物価高騰による学校給食賄材料費の増額について審議をいただきます。

また、第1回に引き続き、学校給食費の見直しについて審議をいたします。

2点とも、皆様からいただいた意見をまとめた上で、本審議会から教育委員会に対し、答申を出しますので、慎重なる御審議のほどよろしくお願いいたします。

(事務局 増田)

ありがとうございました。

次に、連絡事項を2点申し上げます。

1点目ですが、2号委員の野口委員、3号委員の渡邊委員、5号委員の川又委員におかれましては、本日所用のため欠席との連絡が入っております。

2点目は、本日の審議会の定足数でございますが、条例により過半数の出席となっておりますので、本審議会は成立いたしておりますことを御報告いたします。

それでは、議事に入ります前に資料の確認をさせていただきます。

本日の会議資料ですが、本日の審議会の次第、「学校給食賄材料費の増額について」、「学校給食費の見直しについて」の資料でございます。

この他に、本日の追加資料として、机上に配布しております、資料がございますが、不足等がありましたら挙手にてお知らせください。

朝霞市学校給食運営審議会に関する条例第6条第4項の規定により、ここからの進行は、宮腰副会長にお願いします。

(宮腰副会長)

それでは、議事を進行させていただきます。

はじめに、議題①、物価高騰による学校給食賄材料費の増額について審議を行います。事務局より説明をお願いします。

(佐々木給食係長)

議題第1号の物価高騰による学校給食賄材料費の増額について御説明いたします。

まず、議題第1号の資料の①を御覧ください。

本日、議題第2号でお諮りする、学校給食費の改定については、令和7年10月の実施を目途に現在検討を行っているところですが、1回目の本審議会におきましても、国の交付金等を活用して、できる限り早期に給食費ひっ迫の現状を解消できないのか、との御意見がございました。

市長部局と調整を行った結果、今後、本市から要望する国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の候補として計上することが可能との回答を得ましたことから、5月23日に開催された教育委員会定例会にお諮りしたところ、学校給食運営審議会に諮問することとなりましたことから、本日お諮りするものでございます。

資料の②を御覧ください。

一品減を解消する期間といたしましては、給食費改定までの間で、7月から9月分までの給食としております。

理由といたしましては、今回の交付金の受け入れに伴う補正予算案を6月に実施される市議会定例会に上程し、議決を受ける必要があることから、議決後の7月からの開始を目指しているものでございます。

なお、8月は夏休みで給食を提供していないため、一品減を解消する期間といたしましては、7月と9月の二月となります。

次のページの③一品減の解消に必要な給食賄材料費の試算を御覧ください。

試算の前提条件として、年間計画の給食実施回数は7月が11回、9月が19回となっております。

一品減の日をおおよそ3日に1回設けた場合、30日中10日間が一品減の日になることになります。

また一品を増やすには、1食当たり小学校54円・中学校58円必要となります。これは、現在の副菜の単価の平均値に15%の物価上昇率を加えた金額となっております。

これらの条件から計算しますと、1人当たり小学校では540円、中学校では580円があれば、2か月間解消できるということになります。

全体としては、合計でおよそ661万4,000円かかります。

内訳としましては、児童・生徒分が約616万5,000円、教職員及び給食センター職員分が、約44万9,000円となります。

財源につきましては、児童・生徒分の616万5,000円は、国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用できるよう要望しております。教職員及びセンター職員等は交付金の対象外となりますので、自己負担としてそれぞれ小学校540円、中学校580円が追加徴収となります。

以上の内容を答申（案）としてまとめたものが、資料の議題1－2になります。

今後の予定に関しましてですが、6月27日の教育委員会定例会にて今回の諮問に対する当審議会の答申を提出し、7月1日から実施となる予定でございます。

説明は以上となります。

（宮腰副会長）

ありがとうございました。それでは、物価高騰による学校給食賄材料費の増額について事務局より説明がありました。委員の皆様より、何か御意見や御質問等ありますか。

(宮林委員)

５００円を市の方から、給食費を上げずに支援してくださっていただいていたと思うのですが、それとは別ですか。

(星加学校給食課長)

５００円の支援につきましては、引き続き前回の値上げ分の５００円の支援を行っております。それとは別に、国の交付金を活用して、今回支援をするものでございます。

(宮林委員)

それは９月いっぱいまで、この１０回分についてでしょうか。

(星加学校給食課長)

７月と９月の給食が全部で３０日分あります。これは想定ですが、３回に１回一品減があるということで、試算をさせていただいて、７月１日分の給食から、一品減を解消し、質の改善は図れないのですが、一品減の状態はなくなるということで考えております。

(高堀委員)

交付金の名称をお伺いします。

(佐々木給食係長)

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金となります。

(高堀委員)

物価高騰というのは全国的なものであると思うのですが、交付金の支援を受けるとするのは、他の自治体でも、県下ではどんな状況なのかお伺いします。

(星加学校給食課長)

この交付金につきましては、昨年度、国から示されたもので、朝霞市の方で、昨年度手を挙げたものがあるのですが、昨年度の途中で出てきたものですから、全部使い切っていない状況です。次の６月議会で、残り全てを出すのですが、その中に、前回の審議会でも御意見もございましたので、市長部局と調整した結果、６１６万円について、候補の一つとして挙げていただけたという調整が付きまして、今回急遽ではあるのですが、なるべく早くできたらと考えまして、本運営審議会に審議をいただくこととしたものでございます。

他市の状況ですが、近隣ですと和光市さんが、臨時交付金を活用して、給食賄材料費に充てていると聞いております。

(高堀委員)

もう一度ちょっと経緯の確認なのですが、前回の審議会で確かに物価高騰の臨時交付金を今５００円というところで、でもこの５００円というのは、前回の値上げ分を支援するというものだったと思うのですが、それをもっと拡大できないかっていうふうにお伺いしたと思うのですが、それを今回、拡大に至ったところっていうのは、どういう経緯だったのか、学校給食課の方から、市の方に伝えたのか、どういう経緯でこういう形になったのかお伺いします。

（星加学校給食課長）

政策の方で募集をかけていたのですが、当初の募集の時は手を挙げておりませんでした。前回の審議会でのお話もありましたので、まだ募集できるか政策サイドと調整を行って、その後、副市長、市長にもこういった御意見があるということで御相談させていただいた結果、政策から今回の候補として、この金額については、計上して大丈夫との回答いただいたところでございます。

（高堀委員）

今回こういう一品当たりいくらっていうふうに非常に細かく計算していただいて、こういう補助の金額616万円5千円っていう金額が出ていますけど、もっと言えば、もっと金額を増やす余地っていうのはあるのですか。

（星加学校給食課長）

今回わかりづらいのですが、10月からの値上げを予定しております。私どもの整理としましては、10月の値上げで今回小学校がいくら、中学校がいくらになるのか、今後、御審議いただくのですが、それまでの間の暫定的な措置として、今回提案させていただいたものです。

まず、値上げと違うのが、今回一品減の給食費の足りない部分を補填するという意味合いでございます。ですので、給食費値上げの場合は、アンケートから始まって、1回目・2回目という学校給食運営審議会での審議を経て、今後丁寧な議論を経て決定するという考えですが、今回は、給食費の値上げとは別に、国の財源を活用して、そこに金額をあてがうということで、給食費の方では、追加徴収というものが発生しないものですので、今回急遽ということで、取り上げさせていただいたという経緯でございます。

（高堀委員）

前回の審議会、4月28日から今日が5月26日という、こういう短い期間の中で、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金というのが、こういう措置がとれたというのは、やろうと思えばできるというか、もっともっと前から、こういうことって対応できなかったのかと思うのですけれどもいかがですか。

（星加学校給食課長）

4月に入ってからさらに物価高騰が顕著になったということは、前回の1回目の審議会でも申し上げたとおりなのですが、4月に入ってから物価上昇率が大きかったということで、我々もアンケートを取らせていただいた令和7年2月後半くらいの時は、6年度の物価上昇率で17%程度というのを見込んでいたのですが、さらに4月に入ってから15%の物価上昇がございましたので、そちらをもって、今後さらに厳しい状況が続くということで、今回、切迫感を持って交渉、調整を行ったところ、市長、副市長含めて、今回は、支援すべきではないかという結論に至ったところでございます。

（原口委員）

学校給食課には、貴重な交付金を活用していただいて、子供たちの給食のためにお使いいただくというのは本当にありがたく思っています。学校給食は、子供たちにとって、おいしいし、それを楽しみに学校に来ている子もいっぱいいますので、今回の対応は本当に感謝したいと思っています。ぜひよろしくお願いします。

（高堀委員）

物価高騰重点支援交付金というのは概要があまりよくわからなくて、例えばいつまでであるとか、どこまでの上限があるのかとか、その辺の概要ってつかまれていますか。

（星加学校給食課長）

今、物価高騰重点支援交付金の残が正確には把握しておりませんが、1億から1億5千万円くらいの間で残があると聞いております。その中で、学校給食でこれくらい何とかできないかという交渉をさせていただいた結果、616万を今度の6月議会に上程させていただけることとなったものでございます。

（高堀委員）

残りの残額が1億5千万ある中で、今回616万ということなのだけれども、その他、まだ枠が残っているというところはあるということなのか。

（星加学校給食課長）

今回、6月議会に上程するもので全て使い切るというふうに、政策、財政サイドからは聞いております。

（太田委員）

6月の議会に上げて、承認が得られなければ実施されないということですか。

（星加学校給食課長）

おっしゃるとおりでございます。議会に承認いただいはじめて予算が成立いたしますので、承認いただければ実施できないということになります。

（高堀委員）

今回、ここにきてはじめてこの内容を知ったのですけれども、副菜一品減を解消するというのでここには載っていますけれども、例えば、よりもう一步踏み込んだ充実というところは検討されなかったのですか。

（星加学校給食課長）

これ以上の補助ということになりますと、給食費の値上げというところを避けては通れないものと我々は考えております。あくまでも、一品減の解消のために材料費を補填するという考えとは別に給食費を値上げすることになりますと、保護者の皆様の費用を上げるということになりますので、市で今回補填できるものとして、616万円で一品減を解消するというところが、今回の提案の主旨でございます。

（高堀委員）

給食賄材料費の総額について、前回お伺いしたと思うのですけれども、現状これまでの、賄材料費の総額って、1年間どれくらいだったのですか。

（佐々木給食係長）

今現在の給食賄材料費の総額ですが、約6億3,500万円計上しております。

(高堀委員)

6億3,500万円のうち、児童生徒が食べる分とそれ以外の分の内訳ってわかりますか。

(佐々木給食係長)

給食賄材料費は全て食材に使っておりますので、今、申し上げた金額が全部給食に充てられているものです。

(高堀委員)

児童生徒の他に教職員の方も食べると思うのですが、児童生徒の分でいくら、それ以外でいくらという内訳をお願いします。

(佐々木給食係長)

大枠でのお答えになりますが、おおよそ教職員が4,300万円になりますので、児童生徒の分が、5億9,200万円でございます。

(高堀委員)

この後、値上げの話になってくと思うのですが、1,000円のベースで値上げした場合、1,300円の場合、1,600円の場合で、年間の賄材料費の総額はいくらかになるのかお伺いします。

(佐々木給食係長)

中学校については、小学校の値上げ額に200円を加えた額として仮に計算しますと、小学校を1,000円、中学校を1,200円値上げした場合、総額が7億7,300万円程度になります。次に、小学校は1,300円、中学校は1,500円に改定した場合、総額でおよそ8億1,200万円になります。最後に小学校は1,600円、中学校は1,800円に改定した場合、およそ8億5,100万円になります。

(小石川委員)

仮に今回のプラスが無かったとしても、栄養価としては十分なものを提供していただいていたのかなあとと思っているのですが、例えばどんなメニューのときに、どんなプラスワンがあるのかという具体例があれば教えてください。

(星加学校給食課長)

通常の給食の場合、ごはんの他に牛乳とおかずが2品つくというのが一般的でございます。この2品のおかずのうち、一品が無い日を何日か設けさせていただいているという状況でございます。1皿足りないおかずというのが、副菜というものでございまして、和え物であったり、くだものであったり、野菜の炒め物であったり、メインのおかずとは別に一品つけるもの、こちらが何日か無い日ができているものが解消されるものでございます。

(小石川委員)

例えば、昔、七夕のゼリーのようなものが出た記憶があるのですがけれども、そういうものが今回の予算で復活するのか、今回はそういったことではないのかお聞きします。

(星加学校給食課長)

今回はあくまでも一品減を解消するだけですので、現在の給食費の状況ですと、七夕のゼリーなどの単価の高いものについては解消される見込みはございません。

(宮腰副会長)

ありがとうございます。色々と御質問等ございましたが、答申書について、事務局案のとおりでよろしいでしょうか。

(異議なし)

(宮腰副会長)

ありがとうございます。それでは、「議題2 学校給食費の見直し」について審議を行います。本日は、学校給食費の見直しの時期と改定額について御審議いただきますが、第1回審議会と同様、見直しの時期と小学校分について審議した後、中学校分を審議するという形で審議を行いたいと思いますがよろしいでしょうか。

(異議なし)

(宮腰副会長)

ありがとうございます。それでは、学校給食費の見直し時期と小学校分について、事務局より説明をお願いします。

(佐々木給食係長)

議題第2号の学校給食費の見直しについてでございますが、

本日は、4月28日の第1回目学校給食運営審議会に引き続き、改定額及び時期について御審議のほどよろしくお願いいたします。

なお、事務局において改定額をブランクとした、教育委員会へ答申するための答申書(案)を作成いたしました。

はじめに、給食費改定の時期についてですが、前回の審議会でもお示したとおり、事務局といたしましては、10月から改定したいと考えております。

理由といたしましては、給食費の改定につきましては、本審議会での答申を受けて、教育委員会での審議を経て決定した後、9月の市議会定例会に補正予算案を提出することから、最も早い改定時期が10月となるためでございます。

児童生徒にできる限り早く、質と量が改善された給食を提供したいという観点からも、10月から改定したいと考えております。

次に、小学校分の改定案の要点につきまして、改めて御説明させていただきます。

はじめに、改定案①の月額1,000円の値上げですが、令和6年度までの物価上昇に基づいて算出したもので、1食当たりの単価を54円値上げした334円とし、月額の給食費を1,000円値上げし、5,700円とするものです。

献立の目安としては、令和6年4月～9月程度の水準の給食で、一品減を元に戻す程度の献立になります。

次に、改定案②の月額1,300円の値上げですが、令和7年4月時点の物価上昇に基づいて算出したもので、1食当たりの単価を82円値上げした362円とし、月額の給食費を1,300円値上げし、6,000円とするものです。

献立の目安としては、令和5年度程度の水準の給食を提供できる見込みです。

最後に、改定案③の月額1,600円の値上げですが、令和8年までの物価上昇を見込んで算出したもので、1食当たりの単価を98円値上げした378円とし、月額の給食費を1,600円値上げし、6,300円とするものです。

献立の目安としては、令和元年度程度の水準の給食を提供できる見込みです。
説明は以上でございます。

(宮腰副会長)

学校給食費の改定時期と小学校分の給食費の見直し案について事務局より説明がありました。委員の皆様より何か御意見、御質問はありますか。

(太田委員)

前回、市の方から2月に給食費の値上げに関するアンケートがあったと思います。おおむね、回答結果から、物価高に伴う値上げは仕方ないというところで、値上げの方向で理解を得られているという前提でした。

ちょっと先日、保護者代表連絡会という朝霞市の小中学校15校が集まっている組織があるのですが、その中で、実際給食審議会で値上げ案が3つあったという話をして、具体的な金額が出てきたのが、その審議会が初めてでしたので、皆さん、値上げは仕方ないなあと思っているけれど、どれくらいの金額だったら許容できるのかっていうのを、意識調査しようという話の流れになりまして、今回アンケートを取らせていただきました。

これは、今回勝手に保護連の方で取らせていただいたもので申し訳ないなあというところではあるのですが、最初は、保護連の保護者代表連絡会の中だけとる予定だったのですが、もうちょっと広く声を集めた方が良いのではないかとというところで、会長さんから、学校ごとに実施したいというところがあれば、実施してもらってくださいということで、アンケートを取らせていただきました。

アンケート結果が、匿名性があったということがあったり、1人何回でも回答できるので、確実性には乏しい部分はあるのですが、回答数としては、1,338件回答がありました。

その中で、僕の個人的判断というところが多いのですが、有効な回答としてほしい1,310件くらい、有効回答としてありました。

個人的にも、金額に関して保護者の皆さんは、どういう反応されるのかなあというのは、よくわからなかったのですが、1,000円、1,300円、1,600円という選択肢と、自由記入欄という形のアンケートでしたけど、だいたいのパーセンテージなのですが、1,000円までは許容できるというのが38%、1,300円は意外と少なく19%、意外と驚きだったのが1,600円が31%で、全体の1,300円以上許容できますよという方が過半数以上いたということが、取ったアンケートでは保護者としての意見でした。

僕は落としどころとして1,300円くらいなのかなあと勝手に思っていたのですが、意外と1,600円でも全然良いよという方も多くて、また、もちろん値上げっていう方向性ではあるのですが、もっと少ない金額だと思っていたという方も一部いらっしゃって、500円程度とか800円程度とか、おそらく1食当たりいくらかくらい上がるっていうことをイメージされてないで回答されているのだと思うのですが、一部数パーセントですが、そういう回答もあったということです。

参考までに、報告させていただきました。

(星加学校給食課長)

アンケートを取っていただき、ありがとうございました。私どもも、その情報を得まして、アンケートを事前に見させていただいたのですけれど、先ほどの3点の他に、値上げは許容できないという項目もあったと思うのですけれど、こちらのパーセンテージはどのくらいだったのでしょうか。

(太田委員)

8. 7%でした。

(星加学校給食課長)

そうしますと、全部足しても100%にならないのは、何か理由があるのでしょうか。

(太田委員)

明らかに不明な回答があったので、そちらは除きました。

もう一度整理しますと、1,000円が38.3%、1,300円が19.2%、1,600円が31.5%、許容できないが8.7%、それ以外が2.1%でした。

(星加学校給食課長)

それ以外という選択肢もあったのですか。

(太田委員)

選択肢としては無いのですけれど、それ以外というのは、設問に対して全然違う回答をしたりしているものです。例えば、500円が良いとか、800円が良いとか、そういった方が2.1%くらいいらっしゃいました。

また、中学校のことは、僕が小学校のPTAなので今回お聞きしませんでした。

(星加学校給食課長)

今初めて結果を見させていただきまして、本来我々が取らなければいけないものかなあというところもございまして、大変ありがとうございました。

今回の設問が、どこの学校ですかという設問が1問目にあって、2問目が、1,000円、1,300円、1,600円、許容できない、という2問だったと思います。その他、記入欄があったと思います。

こちらで、今、許容できないという方が8.7%で、それ以外の方が、およそ91%ということで、この割合については、今伺いする限り、前回取ったアンケートとほぼ同じくらいなのかなあと、約9割の方が値上げを許容する、1割くらいの方が許容されない、ということなのかなあというのが、今率直な感想でございます。

その上で、1,000円が一番多い38.3%で、1,600円も31.5%で、1,300円が19.2%という結果ですが、アンケート自体を見たときに、単純に1,000円、1,300円、1,600円というふうにポンと出されると、人間の心理で1,000円に行ってしまうのかなあと、もっと1,000円が急激に多くなるのでは、との予想をしていたのですが、アンケートの結果としてこのような形となっているというところで、参考にはさせていただきたいと思います。

例えば、1,000円値上げした場合は、給食の質は現状のままですよ、1,300円値上げした場合は、令和5年度程度の水準になりますよ、1,600円値上げした場

合は、令和元年程度の水準になります、みたいなものが、もし書いてあったら、この率は多少変わったのかなあ、という認識は持っておりまして、もちろん、別表PDFにリンクが飛ぶようにはなっていますので、そちらを見て回答された方ももちろんいらっしゃるでしょうし、単純に1,000円、1,300円、1,600円の中で、ポンと回答してしまった方もいるのかなあというふうには考えておりますので、その辺を考慮して、我々も分析は改めてさせていただきたいと考えております。

この度はどうもありがとうございました。

(太田委員)

確かに、回答必須のところを確認すると、明らかに資料を見てないだろうなという回答も多々あったところですので、感覚的に安い方が良いという感覚でつけられた方もいらっしゃるの、参考程度ということで、よろしくお願いします。

(宮林委員)

前回のアンケートも、全部見させていただく中で、値上げをしても質や量を元に戻して欲しいというお声が大半だったかなあと思いましたけれども、アンケートを取ってくださって、わからないという部分も含めれば、1割の方が、上げすぎると家計に厳しいって言われる方が中にはいらっしゃるということを考えると、私も子供が年子だったので、1,000円上がれば2,000円、全てが倍になって、今3人目のお子さんは無償ってということで朝霞市はやってくださっていますけれども、少なからずそういう方も中にはいらっしゃるのではないかなというふうには思いますし、本当に子供のことを考えれば、値上げするのは仕方ないとは思いますが、給食を楽しみにしている、また、食育も大事だっていうことで、この値上げを覚悟されながら保護者の皆さんも、答えてくださっているのではないかなと思うのですが、保護者の皆さんにできるだけ負担が軽くなるように、少しでも市から何か対策をできるようにしていただきたいと思います。

今、最初の500円に加えて、重点支援を使つての支援が10月では消えてしまうので、今までどおり500円の部分はそのままなののでしょうか。それとも、それを入れての1,000円、1,300円、1,600円という計算になるのでしょうか。

(星加学校給食課長)

500円の支援につきましては、今年度末、令和8年3月まで継続いたします。

それとは別に、1,000円、1,300円、1,600円のいずれかの値上げ、小学校については、案を御提出させていただいているところです。

(宮林委員)

ということは、令和8年度からは、500円がプラスされるというふうにとらえていた方が良いでしょうか。

(星加学校給食課長)

現状、学校給食課としては、そのように御説明させていただくしかございません。ただ、前回の審議会でも、そういった御要望があつて、今回、議案第1号で御説明した交付金の活用がありました。今後こういったものが出てくるのか、取り入れられるのかというのは、政策サイドの考えになってくる部分が多分にございますので、こちらとしては、要望はさせていただきたいというふうには考えておりますし、調整もさせていただき

たいと思っておりますが、現状で申し上げられることは、来年の3月以降は、500円の補助が見込めないという御回答になります。

（宮林委員）

来年度からは、国が小学校の無償化というふうに言われていますけれども、実際にこの無償化は関係なく、自治体の中では無償化にされたところもあるっていうのをお聞きした時に、やっぱり質が変わったというふうに、決められた金額で来るからかなっていうふうに思うのですが、本当にそういうふうにならないようにするためにも、来年度も見越しながらしっかり対応をしていただけたらと思います。よろしくお願いします。

（高堀委員）

小学校の給食費の値上げが1,000円、1,300円、1,600円という話の進め方について、小学生の金額を決めて、中学生を決めるっていうステップだと思うのですが、小学校の給食費が決まったら、それに付随して中学校もそれにリンクしていくような書かれ方をしているのですけれども、どうなっていますか。

（星加学校給食課長）

小学校が1,000円であれば、中学校は1,100円、1,200円、1,300円のいずれかの改定、1,300円であれば、1,400円、1,500円、1,600円という形になります。

（高堀委員）

小学校で1,300円値上げするっていうことは、中学校の値上げ幅も、決まってくるということなのですか。

（星加学校給食課長）

事務局として、小学校と中学校を混ぜて提案しますと、選択肢が多くなってしまい、整理がし難いと考えて、まず小学校を決めさせていただいて、中学校の場合は、小学校との比率が低いというのが課題となっておりますので、その部分の解消として、何円アップが望ましいかということで、分けさせていただいたところでございます。

（小石川委員）

給食費が上がっていくことに関して、1割くらいの御家庭が困るということが、こちらのアンケートからも見えてくると思いますが、例えば、生活保護世帯とは別に、小中学校の場合、準要保護の御家庭もあると思いますが、その辺りは調整をされているという理解でよろしいのでしょうか。

（星加学校給食課長）

就学援助を受けている世帯の方につきましては、これまでも給食費についてはいただいております。今後についても同じで、今回の値上げ分も含めて無償ということになっております。

(富士学校教育部長)

補足ですけれども、就学援助費につきましては、運営審議会を通して、議会を経て、金額が決まらないことには、具体的な改正が進まない実態がございます。手順を踏んで進めてまいりたいと担当課の方は考えておりますので、そちらも御了解いただければと思います。

(原口委員)

1中にいたときの話ですが、給食で各国の料理というのがあって、給食センターでソトアヤムという料理を作っていたことがありました。そのときは、給食センターの努力が凄かったです。もやしを使ってカサを増やして、アヤムは鳥ですから鳥のスープなのですが、鳥の代わりに使っていたのが、きのこなのですね、それを代用品として使っていた、それが令和5年度の給食でしたので、1,300円値上げでも厳しい状況なのかなあというのは実感しております。私は今、朝霞第4小学校に勤務しておりますけれども、企業努力しかないかなあというところで、材料費が高騰する中、地場産の野菜を調理員さんが、色々な野菜を見ながら使える部分使えない部分を朝から分けているのですよ。それで1時間くらいかかる。そんな現状を見させていただいて、使えるところを何とか子供たちに提供していこうというところでやっているわけですが、なかなかそれを考えると、令和5年ぐらいに戻していただけるのが一番ありがたいと思います。

そういう意味では、2番目の小学校1,300円っていうのが妥当なラインなのかなあというのを感じた次第でございます。

(星加学校給食課長)

それでは、事務局の意見を言わせていただいてよろしいですか。事務局といたしましては、3案の中で改正案②の月額1,300円の値上げが妥当であると考えております。理由といたしましては、月額1,300円の値上げ額は、質、量ともに充実していた令和5年度当時の給食を提供する場合の積算について、令和7年4月時点の物価水準を基に行ったもので、現在の物価水準を反映した適切な値上げ額だと考えるためでございます。

改正案①の月額1,000円の値上げは、令和6年度水準を基に積算したものでございまして、令和7年度以降も引き続き物価高騰が続いている現状を鑑みますと、現在実施している一品減を解消する程度の献立の内容となり、今回の給食費改定の目的でございます、給食の質と量の改善を十分図ることができないものと考えております。

次に改正案③の月額1,600円の値上げでございますが、将来の物価高を盛り込んで積算したものでございますが、今回の改定幅が大きいことや2月に実施した保護者アンケートの際に、1,000円前後の値上げとしていたことから、次に御審議いただく中学校分の給食費がより高額になることを考え合わせますと、上り幅が大きすぎるものと考えております。

今後のさらなる物価高騰への対応につきましては、今後の食料品価格の動向を注視しながら、必要に応じて給食費改定を行うことが、保護者の皆様により御理解いただけるものと考えております。

(宮腰副委員長)

今、事務局の方からは1,300円でどうなのかなあというお話がありましたけれども、いかがでしょうか。

（星加学校給食課長）

決を採るといような方法ではなくて、もし、1,300円以外の改定が望ましいという御意見がありましたら、お出しいただけますでしょうか。

（太田委員）

来年の4月からの小学校無償化について、その後の進展というのは何かわかっているのですか。

（星加学校給食課長）

国の方の骨太の方針の中に入ってくるのではないかとということで、その骨太の方針の原案が、5月末に出てくるという話を聞いているのですが、まだ出てきておりません。

この辺は私どもも県を通じて確認をこまめにしているところなのですが、現時点ではまだ出てきていないような状況でございますので、不透明な状況というのが現状でございます。

私どものあくまでも案が1,300円の改定が良いのではないかと申し上げているところでございますので、こちらの方がという御意見がございましたらおっしゃっていただいて、御審議いただきたいという考えでございますので、御忌憚のない御意見を願います。

（太田委員）

ぎりぎりな感じに上げていっても、またすぐに切羽詰まってくることになるので、個人的には、ある程度余裕を持った形での値上げが望ましいのかなとは思っていて、ただやはり、1,600円となると、なかなかインパクトも強くて、うちも子供が2人いますけれども、そう考えると月にこんなに上がるのかと思うと、若干憂鬱にはなるので、だからと言って1,000円となると、このまま物価が上がっていったら、またすぐ副菜がなくなってしまうことが想像できるので、個人的には、1,300円くらいが落としどころなのかなあというふうには思っています。

（宮林委員）

今回の御父兄の負担は、1,000円以内にはして差し上げて欲しいなというふうに思いますが、実際の給食のことを考えると、やはり私も1,300円が妥当だと考えます。

（高堀委員）

1,300円という意見が出ていますけれど、前回のアンケートの中でも、市費による補助を優先して欲しいという意見もあったと思うのですね。確かに今回、これだけ動いていただいて、交付金を使っただけの増額というのはありましたけれども、これは国が払うものであって、市はどれだけ補助を考えているのかと、その辺どの程度考えられたのですか。

（星加学校給食課長）

先ほども申し上げましたが、現状ではございません。しかしながら、今後9月の補正に向けて我々も調整してまいりますし、要求はさせていただきたいというふうには思っています。

今回、値上げ幅も大きいので、ただ、決定と言いますかそういったものについては、政策ないし財政といったところとの調整が、市長部局との調整が必要になってまいりますので、今後の課題というふうに考えております。

（高堀委員）

溝沼給食センターと浜崎給食センターについては、米を炊いていなくて、市外から米飯を納入していることから、自校給食室との間で倍くらいの価格差があります。この部分については、市内に炊飯施設をつくる等、市がもっとできることがあるのではないかと考えています。これは、本来市が負担すべき負担を保護者に負担を求めていることになるのではないかと考えています。今回の増額分に関しては、国がということで、500円の増額も国で、今回の7月と9月の分の国でということでやっていますけれども、でも、先ほどのお米の例をとってみても、市がもっと保護者の負担を軽減する支援を検討すべきなのではないかと思います。だから今回、過去最大ですよ、1,300円というのは、だからそれは、抱き合わせで、市としては何らかの補助を考えるべきではないかと思うのですけれどもその辺はどうですか。

（星加学校給食課長）

補助をしてもらいたい気持ちは我々も同じように持っておりますが、セットでというようなことをお約束できる立場にはないものですから、今回はあくまでも値上げ分の御審議をいただくというところになってしまいます。

しかしながら、先ほども申し上げましたとおり、今後補正に向けては、要望してまいりますし、政策サイドとは調整を図ってまいりたいと考えておりますので、という御回答となってしまいます。

（太田委員）

学校サイドからだど、どの辺りが妥当と考えていますか。立場が違えば違うのかなあとも思ひまして。

（宮腰副会長）

ここにきて、給食が寂しくなっているなあとは感じています。

（原口委員）

中学校で子供たちが給食を食べて、外で体を動かしている姿を見て、ありがたいなあと感じたことを思い返すと、令和5年程度にさせていただけるのは、私としてはありがたい。やっぱり、あのときの子供たちはいっぱい食べていましたし、給食が足りなくなると隣のクラスに取りに行ったりしたくらいで、やっていたところもありました。そういうのを見ていると、あの時代が良かったと私は思っています。

いつも子供たちに言っていることなのですが、僕らの体の3分の1は給食でできているって、そこを考えると大事な問題でありますし、保護者の負担を考えると、それは大変なことだけれども、子供の成長を考えてみたときに、それはすごく重い言葉かなあと思います。

(小石川委員)

学校の教職員の立場ですと、どちらかというと価格についての意見というよりも、学校給食費改定による効果の一例という資料にあるとおり、クリスマスケーキであったり、七夕のゼリーであったりと、給食で意外に季節を感じていたように思います。

給食って、単純に栄養をとる、体をつくるってことのほかに、それ以外にもたくさん得るものがあるように感じます。ですので、そういった点で、給食費が改定されることで、学校で子供たちが、最近こう感じているのではないかとか、また、昔こういうふうに喜んでいた姿が最近見られなくなって来たというのは、毎日現場で見られるので、そういうことはお話が逆にしやすい立場にあるのかなあというふうに思うのですけれども。どれくらいの部分ということになると、保護者の代表である委員であるとか、市民の代表である市議会の委員の御意見がすごく大事なのかなあと思いました。

(宮腰副委員長)

それでは、まず、改定時期については、１０月１日からでよろしいでしょうか。

(高堀委員)

確認なのですが、それは教育委員会の中での話し合いと９月議会を通すということで最速がそういった日程になるということではよろしいのでしょうか。

(星加学校給食課長)

改めて整理をさせていただきますと、教育委員会、政策調整会議、庁議にかけて、９月議会に値上げした上での歳入歳出補正予算を上程します。９月議会で議決をいただきましたら、１０月１日から最短で改定させていただきたいと考えております。

(宮腰副委員長)

では、改定日は１０月１日からということではよろしいでしょうか。

(異議なし)

(宮腰副委員長)

続きまして、小学校の改定額についてですが、今１，３００円改定が話題の中心になってきていますが、１，３００円の改定でよろしいですか。

(異議なし)

(宮腰副委員長)

ありがとうございます。

それでは、改定日は１０月１日から、小学校の改定額は、１，３００円を本審議会の答申といたします。

続きまして、中学校分の学校給食費の見直しについて事務局より説明をお願いします。

(佐々木給食係長)

次に中学校の給食費改定案について御説明します。

前提条件として、小・中学校の給食費の差額について御説明させていただきます。

文部科学省の学校給食摂取基準では、中学生に必要な栄養価は小学生の平均の約1.27倍となっており、食材費についても、同様の価格差が必要とされています。

本市の学校給食においても、昭和40年代は1.2倍を超えていましたが、給食費の改定を重ねる度に率が下がり、現在は1.12倍となっております。

中学生に必要な栄養価を考えた場合、小学校と同額の改定ではなく、価格差を設ける必要があることから、改定案を3案作成いたしました。

小学校の値上げ額に100円、200円、300円のいずれかを上乗せする3案となっております。

小学校の改正案が仮に1,000円値上げとなった場合ですが、100円上乗せの場合は月額6,400円で対小学校比1.12倍、200円上乗せの場合は月額6,500円で対小学校比1.14倍、300円上乗せの場合は月額6,600円で対小学校比1.15倍となります。

事務局といたしましては、今回の価格差として、200円が妥当であると考えております。

理由といたしましては、100円の価格差の場合、現在の1.12倍の小中学校比率が1.11倍となってしまう、比率がより近づいてしまうことから、適切でないと考えております。

また、300円の価格差につきましては、価格比が1.15倍となり、適正比率により近づきますが、今回の改定額が大きいことから、値上げ額が大きすぎると考えております。

小学校給食費に対する中学校給食費の適正な比率への改定につきましては、今後、給食費を改正する際に、段階を踏んで徐々に適正比率に近づけていくことが望ましいと考えております。

また、改定後の給食費の徴収につきましては、保護者の皆様や教職員等関係者への説明及び学校給食費徴収規則の改正に関しましては、皆様の理解を得られるよう、今後、適宜、丁寧に行ってまいります。

説明は以上となります。

(宮腰副委員長)

中学校分の学校給食費の見直しについて事務局から説明がありました。委員の皆様より何か御意見、御質問はございますか。

(高堀議員)

確認ですが、栄養価とはカロリーのことですか。

(星加学校給食課長)

委員おっしゃるとおりでございます。摂取カロリーが小学校に対して1.27倍必要というのが文部科学省の基準となっております。カロリーと食料品の価格はほぼイコールの状態になります。これまでの値上げが、小中学校同じ額であったことが多かったことから、その度ごとに小学校に対する中学校の比率が近づいていってしまったことが原因でございます。今回小学校の給食費が1,300円の値上げとなりましたので、仮に100円アップで中学校1,400円とした場合、倍率が1.11倍となり、逆に近づいてしまうという状況ですので、倍率を1.27倍に少しずつ近づけていくという流れを作るという意味で最低限というのが、先ほど200円アップが妥当ではないかと申し上げた理由でございます。

(太田委員)

小学生が1,300円で中学生が1,500円という場合、中学校の給食の質、量はどのようになるのか確認します。

(星加学校給食課長)

1,500円アップで令和5年程度の給食が担保できるものと考えております。

(小石川委員)

今、小と中を比較すると1.12倍という説明がありましたが、仮に1,500円とすると、1.15倍になると思うのですが、これで中学校としては十分満足いくぞと事務局はお考えということでよろしいのでしょうか。というのは、仮に理想である1.27倍を死守すべきとするのであれば、給食費を相当上げないといけないのかなあと思いますし、逆に、今まで1.12倍で何とかやってこられたという考えもあり、その辺の落としどころを事務局がどのように考えているのか考えをお聞かせください。

(星加学校給食課長)

理想を言えば1.27倍が望ましいのですが、値上げ幅も大きくなりますことから、少しずつ目指す割合に近づけていく流れをつくるためにも、今回200円アップの1,500円の改定が望ましいと我々は考えております。

(原口委員)

明らかに小学生の食べる量と中学生の食べる量は全然違うので、1.15倍で賄えるのかお聞きしたい。

(星加学校給食課長)

今までとの比較になってしまうのですが、今まで、1.12倍で給食賄材料費が逼迫する中で、何とかやってこられたところですので、1.15倍で1,500円アップということがもし認められれば、十分な量と質が確保できるものと考えております。

(宮林委員)

前回4市の比較の中で、現在は朝霞市が一番安かったかと思うのですが、今度は一番高くなるのでしょうか。それとも、他市もここで値上げするのでしょうか。

(佐々木給食係長)

4市の中で朝霞市が一番高くなってしまいます。

(高堀委員)

200円アップと300円アップの違いは何ですか。

(星加学校給食課長)

もちろん300円アップしても、我々としてはありがたいのですが、今回の値上がり幅が今までになく大きな幅になっておりますので、中学生の方にさらに御負担をお願いすることになりますことから、割合を近づける最低限の金額である200円アップが妥当ではないかと考えております。

(高堀委員)

事務局側の主観として200円アップが良いと考えているのか。

(星加学校給食課長)

御審議に当たって事務局側の考えをお示しした方が良いとの考えから参考としてお示したものでございますので、決定についてはもちろん御審議いただいて、その上で決定いただきたいと考えております。

(高堀委員)

中学校200円アップすると1食いくらになりますか。

(佐々木給食係長)

1食当たり404円になります。

(高堀委員)

300円アップすると、給食の質はどのように変わるのか。

(星加学校給食課長)

今回、小学校の給食費の値上げ分に加えて、中学校をいくら上げるかということで、100円、200円、300円とお示ししておりますので、300円アップしても、給食の質がより良くなるということはありません。給食の量やカロリーが充実するものと考えております。

(高堀委員)

100円だとちょっと厳しいということですか。

(星加学校給食課長)

現状として、100円アップでできないことはありません。しかしながら、これまで小学校と中学校の比率がずっと近づいてきている歴史がございます。これが好ましくないとの考えから、今回は、中学校を値上げすることによって、適正な比率に近づけていきたいと考えております。

一例ですが、中学校では、夏場牛乳を250mlに増やす日を設けています。このように、中学校の給食費を上げることによって、ごはんやおかずの量を少し増やしたり、摂取カロリーを少し増やしたり、といったことが可能になるものと考えております。

(太田委員)

逆に300円になると量が増えてしまって、残菜が増えて廃棄が出てしまう可能性はありませんか。

(星加学校給食課長)

残菜に関しましては、メニューによるところが大きい状況です。給食が足りないというお声は多く頂戴しているところでございますので、量の改善によって残菜に直結するとは考えておりませんが、可能性は否めないところです。

いずれにしましても、我々としましては、残菜が少なくなるような献立作りを工夫してまいりたいと考えております。

(宮林委員)

200円アップだと、小学生と同じくらいの、その年齢に合った質と量になるということでしょうか。300円アップだと、ちょっと今度は逆に中学生だけ違ったものを食べられるようになるということでしょうか。

(星加学校給食課長)

質が変わることはございません。量がその分少し多くなるものと考えております。

(宮林委員)

中学生の方がお椀が大きいですね。

(星加学校給食課長)

そのとおりでございます。

(宮林委員)

先日試食に來させていただいて、小学生と中学生を別々に注文させていただいて、量も見させていただいたのですが、以前は中学生の献立を試食させていただいて、今日は小学生の献立を試食させていただいたのですが、しっかり量はとれているのかと思いましたが、きっと育ち盛りの皆さんにしたら、これで小鉢一つなくなると、きっと中学生のお子さんたちは、部活動までもたないだろうなっていうのは実感として感じました。中学生は量をしっかりとってあげた方が良いのではないかと思います。

(宮腰副委員長)

それでは、中学生の金額は、小学生の金額から200円上げるということによろしいでしょうか。

(異議なし)

(宮腰副委員長)

ありがとうございます。それでは、中学校の給食費は小学校の1,300円に200円上乗せした1,500円とすることで決しました。

それでは、最後に、答申について、事務局案のとおりでよろしいでしょうか。

(異議なし)

(宮腰副委員長)

ありがとうございます。

(星加学校給食課長)

1点補足させていただきます。資料の中の現在ブランクのところに、小学校1,300円、中学校1,500円と記入し、答申案とさせていただきます。

(宮腰副委員長)

ありがとうございます。本日の議事は全て終了いたしました。せっかくの機会ですので、全体を通して御意見等ございましたらお願いいたします。

(高堀委員)

今回、こういう形で値上げということになったのですけれども、実質的に昨年の10月から6月末まで、質と量が落ちたというのは確かなことだと思います。結局子供にしわ寄せが行ってしまっているというところを、今後、何らかの方策を考えなくていいのかというところなのですから、その辺の見解をお伺いします。

(星加学校給食課長)

今回、給食費を値上げさせていただくわけですが、これまで、他市が値上げをしてきている中で、朝霞市は値上げをせずに、耐えてきたというところがあったと我々は認識しております。

今回の値上げ幅が大きくなった要因として、他市が段階を踏んで何回か値上げしてきている中で、朝霞市はずっと値上げせずにずっと耐えてきて、今回大きく上がることになったと我々は考えております。

子供たちに一品減するといったことが今後ないように、物価上昇を見ながら適正に御提案をしていきたいと考えております。

(宮腰副委員長)

ありがとうございます。では、事務局から何かありますか。

(事務局 増田)

それでは、本日の会議録作成後、宮腰副会長に御確認をお願いしたいと思います。事務局からは以上となります。

(宮腰副会長)

それでは、これで議長の職を解かせていただきます。円滑な進行に御協力ありがとうございました。事務局にお返しいたします。

(事務局 増田)

宮腰副会長、進行ありがとうございました。以上で令和7年度第2回朝霞市学校給食運営審議会を閉会いたします。

皆様、本日はお忙しい中、ありがとうございました。

(以上)